

豊田景気実感調査



Viewing over Our Toyota's Economic Condition

第13号 発行日 2017.12.5

"足踏み感が続く中、先行き期待感が若干持ち直し 平成29年11月 調査結果

	現状判断DI				先行き判断DI				水準判断DI			
	家計	企業	雇用	総合	家計	企業	雇用	総合	家計	企業	雇用	総合
豊田	46.2	52.8	50.0	49.0	49.3	52.6	50.0	50.6	49.1	56.2	56.9	52.4
全国	49.6	56.4	60.3	52.2	54.4	55.7	56.7	54.9	45.3	55.7	60.5	49.2
東海	46.5	I	_	52.3	54.5	_	-	57.1	42.2	_	_	49.7

※全国、東海は内閣府10月調査 【天気図の見方】D I 値 🥟 大きな晴れ:60点以上/ 🌞 晴れ:50~60点未満/ 🗪 曇:40~50点未満/ ₹雨 : 40占未満

【調査結果 総括】

今回の景気モニターの方への調査では、足許は景況感の足踏み感が続くものの、先行き期待感は若干持ち直しとの結果となり ました。ただ、景気水準感としては全国よりも優位性を維持しているものの、フローの動きとしては全国よりも若干弱い動きと なっています。

総じて言えば、前回5月調査の"曇りの中に晴れが垣間見える"といった状況から、今回は"晴れ間の中に曇りが垣間見られ "様相に若干改善したと総括できます。

景況感の足踏みの背景としては、主力の製造業や非製造業が円安や輸出好調から景況感が大幅に改善する一方で、所得の伸び 悩みに伴う小売、サービスの景況感後退、人手不足の慢性化による雇用の後退という景況感の2極化が進んだことが挙げられま す。また、住宅にも景況感の一服感が見られます。

当地域における人手不足や所得の実情について調べたモニターの方への追加調査においても、雇用問題の深刻化や所得増への 期待感は強まっているものの、足許では所得が伸び悩んでいる様子が確認出来ています。

この一方、先行きについては、景況感が改善に転じた非製造業、製造業や一服感からの盛り返しを期待する住宅を中心に景況 感の持ち直しが見られます。ただ、当地特有の先行きは慎重に見るという特質に加え、傾来の所得伸び悩みと人手不足の慢性化 が足枷となって、全国より持ち直しテンポは緩いものになりました。この中でも、企業業績の好調や地域開発の盛行などを背景 とした非製造業の持ち直し期待感の強さや飲食、サービス業の全国比水準感の高さが特徴として挙げられます。

モニターの方からも、「戸建てや工場建設案件が増えている」(司法書士)、「株価上昇により景況マインドが明るい様子」 (住宅関連)、特に企業部門では「自動車生産台数が増加見込み」(化学工業)、「自動車関係の試作案件の増加」(金属製 品)といった声が聞かれています。

なお、今回「EV化の波」に関連したモニターの方への調査を実施しました。その結果から、今後提供価格が天秤に掛けられな がらも、車の燃料種の多様化が進むこと、また、豊田市民ユーザーにとってもEV車の現実感が増している現状が窺えました。 部品メーカーに止まらず、地域にして取組むべき大きな課題であることが再確認されました。

1. 調査期間:平成29年11月1日~24日

2. 調査客体:300名(家計/企業/雇用等) うち有効回答:254名 / 有効回答率:84.6%

3. 調査項目: ・2~3ヶ月前から現在までの景気の変化をどう感じますか? ⇒ 現状判断 D I

・現在から2~3ヶ月後までの景気の推移をどう予想しますか? ⇒ 先行き判断D | 水準判断DI

・現在の景気の水準をどう判断されますか?

<問い合わせ先> 豊田商工会議所:丹羽 0565-32-4595 豊田信用金庫:高橋 0565-36-1384

4. D I 算出方法:

評	一	5	4	3	2	1	
評価	現 状 判断	良くなっている	やや良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている	
	先行き 判断	良くなる	やや良くなる	変わらない	やや悪くなる	悪くなる	
	水 準 判断	良い	やや良い	どちらでも	やや悪い	悪い	
	付与点数	1	0.75	0.5	0.25	0	

各判断項目毎に、評価段階別の回答者数構成比(100%比)を算出し、その構成比に上記の付与点数を掛け、合計します。それがDI値です。

本調査は、豊田市に居住または勤務されている個人の方で、家計、企業、雇用の動向を敏感にキャッチ出来る方を対象に、身の周り の景気の実感を聞く調査です。内閣府の「景気ウォッチャー調査」(こちらは毎月実施)に準じて、豊田商工会議所と豊田信用金庫と が協働し半年に1回(5月/11月)実施しています。また、家計は小売、飲食、サービス、住宅、企業は製造、非製造業から成ります。 なお、本調査では別に特別調査を実施しています。

概括 業種別内訳 総合DI (豊田) 小売、サービス、住宅、雇用が後退の一方、製造、非製造は大幅に改善。 (DI) _{小売} Ó 飲食 サービス 住宅 雇用 製造 非製造 【改善・悪化】 60 49.4 49.0 **▲**5.9 **▲**5.6 **▲**2.2 前 55 ■ 29/5 調査 57.3 50 ○前回比 52.3 **▲**3.6 50.0 +0.8 50.0 比 45 ・総合:曇り横這い ■ 29/11 調査 45.8 40 ・家計:曇りが強まる 35 ・企業:曇りから晴れに 雇用: 晴れが弱まる 全国優位業種が多い。中でも小売、雇用のほか、製造も全国優位である。 (DI) 飲食 サービス 住宅 製造 非製造 全 60 -○全国比〈ほぼ豊田優位が剥落〉 【優位・劣位】 ± 0.7 **▲**10.3 **▲**3.9 55 **▲**2.5 玉 ・総合:全国晴れ、豊田曇り 56.1 56.6 ▲0.1 54.8 60.3 **▲**7.2 ■ 29/10 全国 50 ・家計:全国の方が弱い曇り +2.050.1 45 ■ 29/11 豊田 ・企業:全国の方が強い晴れ 43.8 40 ・雇用: 35 総合DI (豊田) 小売、飲食は後退の一方、非製造、製造、住宅は先行き期待感が強まっている。 (DI) 今 回 小売 飲食 サービス 住宅 製浩 非製造 雇用 【改善・悪化】 60 +13.0 49.5 50.6 55 +46 +26 前 +1.5**▲**2.0 **▲**2.1 +1.4■ 29/5 調査 50 ○前回比 52.6 50.0_ 45 47.9 52.3 51.0 ■ 29/11 調査 ・総合:曇りから晴れに 比 40 ・家計:曇り横這い 35 ・企業:曇りから晴れに ・雇用: 全国対比では先行き感は総じて慎重。 ただ、非製造は全国よりも強い。 (DI) _{小売} 飲食 サービス 住宅 製造 非製造 雇用 60 -○全国比〈ほぼ豊田優位が剥落〉 【優位·劣位】 **▲**6.7 全 **▲**2.9 **▲**4.0 **▲**6.5 55 ・総合:全国の方が強い晴れ 55.2 56.7 55.0 54.8 国 53.3 ■ 29/10 全国 50 ・家計:全国晴れ、豊田曇り 比 45 ■ 29/11 豊田 ・企業:全国の方が強い晴れ 40 ・雇用: 35 総合DI (豊田) 非製造や雇用、飲食が水準感回復の牽引役である。住宅は一服の様相。 (DI) 今 回 飲食 サービス 非製造 雇用 住宅 【改善・悪化】 60 **▲**4.6 +4.1 +6.1 **▲**0.5 52.4 50.7 55 +-1-4 56.9 61.3 前 55.4 54.5 29/5 調査 53.8 50 +4-6-○前回比 47.9 45 **▲**0.1-29/11 調査 総合:晴れが強まる H. 43.5 40 ・家計:曇りが弱まる 35 -・企業:晴れが強まる 飲食、サービス、非製造の豊田優位が目立つ。 小売、雇用、製造は劣位。 ・雇用: (DI) _{小売} 飲食 サービス 住宅 製造 非製造 雇用 60 -【優位·劣位】 **▲**3.6 ○全国比〈ほぼ豊田優位を維持〉 +56 +7.8 **▲**2.2 全 +1.055 55.7 ・総合:全国曇り、豊田晴れ 56.0 国 53.5 29/10 全国 50 +6:5 ・家計:全国の方が強い曇り 比 47.6 45 -▲0.2 29/11 豊田 ・企業:全国の方が弱い晴れ 43.7 40 -41.4 ・雇用:全国の方が強い晴れ 35

評価段階別内訳

景気モニター牛の声



+:自動車試作関連の受注が増えている。

(金属製品製造業経営者)

+:取引先において企業内イベント及び社内行事に注力す る先が増加している。 (通信会社社員)

+:戸建て、工場拡張案件の増加が見られる。(司法書士)

+:ビジネス顧客の宿泊増加、イオンリニューアルや KiTARAオープンと、人の流れが強くなっている。 (都市型ホテル経営者)

+:株価上昇により、お客様のマインドに明るさが出てき ている様子が窺える。 (住宅関連経営者)

-:賃金が上がっていない。財布の紐は依然固い。

(乗用車、備品販売店経営者)

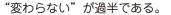
-: 人手不足も、需給のミスマッチは改善されておらず、 景況感との連動性も薄い印象。 (職業安定所職員)

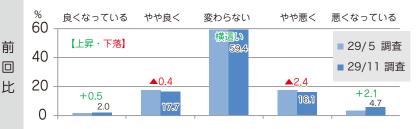
- : 台風、長雨により高齢者の来店が減った。

(その他サービス関連従業員)

一:海外の動向も含め、業績悪化リスクを常に抱えている 状況に変わりない。 (輸送用機械製造従業員)

-:受注単価が上がらない。 (輸送用機械製造従業員)





"変わらない"に収斂する傾向が全国よりも強まっている。



全

国

比

前

比

全

国

比

全

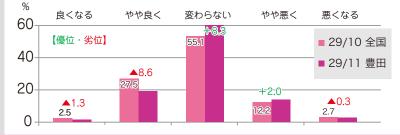
国

比

"変わらない"が過半を占める中、 "やや良くなる"も増加した。



"変わらない"への集中が非常に高く、先行き期待感を薄めている。



< +:回復感あり -:回復感なし>

+:自動車生産台数が増加見込みである。

(化学工業従業員)

+:顧客からの倉庫需要が非常に増えている。期間も長い 案件が多い。 (輸送業経営者)

+:大企業の業績が良いこと。政治、為替も安定している t-80. (司法書十)

+:駅前通り北地区再開発竣工による集客増を期待。

(商店街代表者)

+:持家希望者が増加傾向にある。 (不動産業経営者)

-:自動車産業に将来的な不安がある。(小売店経営者)

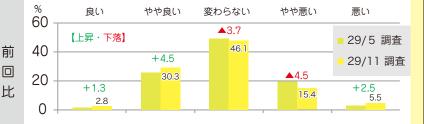
- : 豊田市北部の活性化も見られる一方、まだまだ長久手 など市外近隣での購買傾向が強い。豊田市内の小さな 店や会社は、独自の戦略をしっかり打ち出さない限 り、若い客層を取り込むことが難しいのではないか。 (住関連専門店経営者)

-:繁忙であるが、人手が足りない状況が続いている。 (通信会社社員)

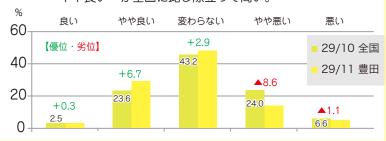
-:北朝鮮問題等の外因による日本経済への影響や米国の

景気不安が心配。 (住宅販売会社経営者)

"やや良い"との見方が多く、しかもそこが増えている。



"やや良い"が全国に比し際立って高い。



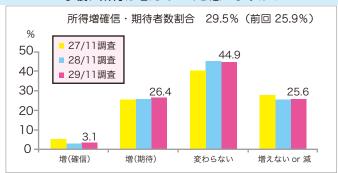
自由回答:景気モニターからの貴重な声

- ・自動車のEVやFCVの主流化により、部品メーカーが どうなるのか先が見えない。
- 豊田イオンはみよしや長久手に比べ格段に小さい。40 万人都市であるならばマンモスショッピングモールが あってもよいのでは? 行政は考えてほしい。
- 公共交通機関や学校がまだまだ不足していると思いま す。店舗などすべてが大衆的で、落ち着いて街並みを散 策することもできず、県外からの客を案内することもで きません。駅周辺が駄目なら豊田市美術館添いでもいい ので、この街にいて嬉しいと思えるようなエリアがあっ たらいいなと思います。
- ・若い人がチャレンジしやすい小規模テナントが必要。
- ・車の街であるが、自動車をシンボルとしたオブジェや道 路環境の整備が遅れている。住宅地にトラックが走り、 振動や排気ガスに悩まされている。
- ・人手不足、採用難が最大の経営リスクです。
- ・名鉄豊田市駅下及び愛環新豊田駅下のトイレが老朽化で 汚い。駅前に人を呼ぶには、整備が必要と考えます。
 - ~ 貴重なご意見、ありがとうございました。~

Z

所得見通し※・消費意欲の調査 ※平成24年から調査を継続しています。

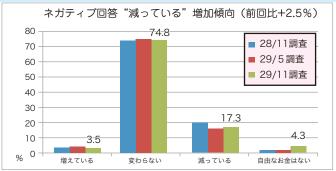
今後、所得は増えていくと思いますか?



所得増への期待感微増

今回、所得増確信+期待のポジティブ回答の割合がほぼ3割に達しました。前回調査(平成28/11月)より増加しています。徐々にではありますが、景気状況に所得が追い付いてきている様子です。

自由に使えるお金【小遣い等】は増えましたか?

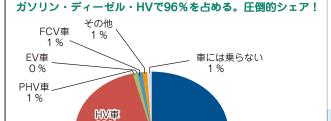


増えない小遣い

野菜など生活物価の上昇により、所得は増加してもその分は物価上昇分に吸収され小遣い増とまでは波及していない様子が窺えます。 自由に使えるお金が増えない以上、景気感の回復は見込めません。

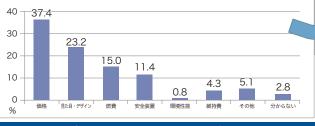
豊田市経済を牽引する自動車産業に、欧州発の世界的な EV 化の波が押し寄せています。 今回はこの EV 化についてモニターの方に伺いました。

現在乗っている自動車の動力源から見た種類は何ですか?



自動車を購入する際の決め手は何ですか?

決め手は「価格」との回答が3割超!



〈表示の解説〉

HV車⇒ハイブリッド車 (トヨタ プリウスなど)

PHV車⇒プラグインハイブリッド車 (トヨタ PHVプリウスなど)

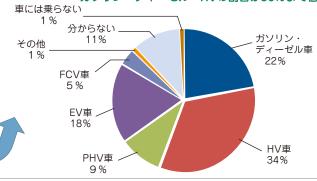
EV車⇒電気自動車 (日産 リーフなど)

FCV車⇒水素等の燃料電池車 (トヨタ ミライなど)



次に自動車を購入する場合、どの動力源の自動車を購入したいですか?

ガソリン・ディーゼル・HVの割合が56%まで低下。



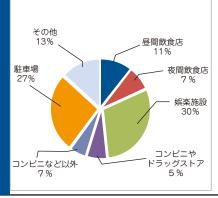
以上の結果から推察されることは、提供価格が天秤に掛けられながら、今後燃料種の多様化が進むということでしょう。当然インフラ整備の進捗や環境問題への対応、自動車メーカーの世界戦略との絡みもあり、今後どのようなテンポで多様化が進んでいくのか、予断を許しません。しかし、少なくとも豊田市民ユーザーにとってもEV車の現実感が増していることが十分窺えます。

人手不足が謳われる中、当地域における実情は どうなのか?モニターの方に伺いました。

慢性的に感じている	28.30%	
2、3年前から感じている	18.90%	人手不足
最近になって感じている	25.60%	
感じていない (適正だ)	21.70%	
むしろ過剰	0.40%	
わからない	5.10%	

「人手不足」と感じている方の割合は実に7割以上にのぼるとの結果になりました。人手不足、採用難が経営の最大のリスクであるとのコメントや、外食産業において人手不足が深刻であるとの声、さらには人手不足は、後継者不足に波及しており、事業継承の警鐘ともなっているとの切実な声も頂いています。重要な地域課題であることが再確認されました。

賑やかな豊田市駅周辺にするために、 "あったらいいね"を聞きました!



①映画館が出来たのでボーリング場など家族で遊べる施設も欲しい、②駐車場が十分に無いといった声が寄せられました。左記回答の「その他」の具体的内容は自ていただきましたので、ご覧下さい。